

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)グランアッシュ都島区京橋 新築工事				
建設地	都島区東野田町1丁目				
建築用途	共同住宅				
建築主					
設計者					
敷地面積	594.81	m ²			
建築面積	313.56	m ²			
延床面積	2,810.55	m ²			
構造/階数	RC造	/ 地上12階			
完了年(予定)	2027年5月				

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
B+ BEE =1.3 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L 1.3 36 48 3.0 1.5 BEE=1.0 100 50 0 0 50 100 S A B+ B- C		★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆ 30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★★ 100%超: ★★ 標準計算 建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 100% 83% 83% 83% 0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです		Q2 サービス性能 Q3 室外環境 (敷地内) Q1 室内環境 LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 1 2 3 4 5 ラベル表示 有	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質	
Q1 室内環境	
Q1のスコア= 3.4	
音環境	3.4
温熱環境	4.0
光・視環境	2.8
空気質環境	3.3
Q2 サービス性能	
Q2のスコア= 3.0	
機能性	3.5
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.6
Q3 室外環境 (敷地内)	
Q3のスコア= 2.1	
生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5
LR 環境負荷低減性	
LR1 エネルギー	
LR1のスコア= 4.2	
建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0
LR2 資源・マテリアル	
LR2のスコア= 3.0	
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	2.8
汚染物質回避	3.3
LR3 敷地外環境	
LR3のスコア=3.1	
地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
可能な限り緑化する事で良好な市街地形成を目指している。	特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
全体的にF☆☆☆☆建材を使用し、24時間換気とする事で、ホルムアルデヒドの発散を抑えた室内環境としている。	情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるようGbit(ギガビット)クラスのブロードバンド対応とし、機能性に努めた。
Q3 室外環境 (敷地内)	敷地周囲にできる限り緑化に努め、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した計画を目指している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
共用部にLED照明器具を採用等、設備機器の省エネに配慮している。	特になし。
LR3 敷地外環境	駐輪場の附置義務台数を確保している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率に基づくスコア＝3.6	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	できる限りの緑化に努めた。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	断熱等性能等級4取得予定	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明の採用、節湯器具の使用。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級4（相当）	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.83	0.83	-